

# 鳥取県淀江産業廃棄物処理施設計画地地下水等調査会（案）の委員等について

令和元年 11 月 29 日  
技 術 企 画 課

本議会に提案中の鳥取県淀江産業廃棄物処理施設計画地地下水等調査会条例（案）に基づき設置する地下水等調査会の委員の専門分野等について報告します。

## 1 地下水の流向等調査について

○地下水流向の推定方法として、環境省のガイドラインでは、以下の手法が挙げられています。

- ①地下水位の水位勾配から地下水流向を推定する方法
- ②周辺地形から推定する方法
- ③観測井(せい)内における地下水の流向を専用の計器を用いて推定する方法

○上記手法に加え、総合的な地下水の流れを把握する手法として、以下の手法があります。

- ④地下水の成分から供給源（水脈）を推定する方法
- ⑤三次元の地盤モデルによりシミュレーションで推定する方法

## 2 委員の専門分野について

上記1に基づく地下水等調査会委員の専門分野は次のとおりです。

- (1) 水文学分野 … 地下水の広域流動特性を地下水位分布や溶存成分、表流水系分布等から調査・解析（上記1③、④）
- (2) 水理地質分野 … 帯水層水理特性及び水頭ポテンシャル分布等から地下水流動を調査・解析（上記1①、③）
- (3) 地盤工学分野 … 施設が周辺地下水に与える影響の工学的評価を調査・解析（上記1③、⑤）
- (4) 地形・地質学分野 … 周辺の地形・地質と地下水賦存状況について調査・解析（上記1②、④）

※ <sup>すいもんがく</sup>水文学… 地球上の水の状態や変化を水の循環の観点から研究する学問。河川・湖沼・地下水など陸上の水が主な研究対象であり、水資源の開発・保全にはその知識が不可欠。

## 3 委員候補者について

委員は、上記専門分野に関する知識及び経験を有する学識者等(5人以内)を予定しています。

現在、元日本地下水学会会長の <sup>しまだ じゅん</sup>嶋田 純 熊本大学名誉教授・大学院特任教授の協力を得ながら、全体の委員構成について、全国の学識者等の中から適任者を選定している状況です。

(参考) 嶋田 純 熊本大学名誉教授・大学院特任教授

○日本地下水学会会長（H23～H27）、国際水文地質学会副会長（H24～H28）、日本水文学会会長（H28～H31）など、国内・国外の地下水分野の学会の主要役職を歴任。

○地下水保全先進県の熊本県では、県環境審議会委員として、熊本県地下水保全条例改正（全国初の揚水許可による採取規制導入（H24））に貢献。

(※) 鳥取県の地下水条例は、熊本県を手本としており、鳥取県議会福祉生活病院常任委員会でも、H24の県外調査において、熊本大学を訪問され、「日本の地下水調査研究の第一人者である嶋田教授(注)」から、熊本の地下水流等に関する聞き取り調査を実施。(注) 常任委員会調査報告書から抜粋

年 齢：昭和25年東京都生まれ 68歳

現 職：熊本大学大名誉教授・大学院先端科学研究部特任教授、熊本県環境審議会会長・水保全部会長、(公財)くまもと地下水財団理事、(公財)肥後の水とみどりの愛護基金学術参与

学 位：理学博士（筑波大学）

専 門：同位体水文学・地下水水文学。（＝地下水を含む水循環の実態（年齢や起源など）を、水に含まれる天然の同位元素を用いた解析・研究。）